

7. 精神疾患病態研究部

I. 研究部の概要

精神疾患病態研究部では、精神疾患の克服とその障害の支援のための先駆的研究活動を展開している。精神疾患の生物学的な研究と精神科治療ガイドラインの普及・教育・検証活動をより発展させて全国レベルで展開することを目標としている。精神疾患の生物学的な研究は、認知社会機能、脳神経画像、神経生理機能などの中間表現型及びゲノムなどの生体試料を用いて、統合失調症、気分障害、発達障害などの幅広い精神疾患について疾患横断的に検討することにより、病態を解明し、新たな診断法・治療法の開発を行っている。この研究は、当研究部においてのみ行うものではなく、国立精神・神経医療研究センターの他の研究部門および日本全国 39 の精神疾患関連研究機関の共同研究体制である COCORO (Cognitive Genetics Collaborative Research Organization : 認知ゲノム共同研究機構) を運営しオールジャパン体制で遂行している。精神科治療ガイドラインの普及・教育・検証活動は、EGUIDE プロジェクト (Effectiveness of GUIdeLine for Dissemination and Education in psychiatric treatment : 精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果に関する研究) という全国 44 大学を含む 182 医療機関の共同研究組織を牽引し、全国でガイドラインの講習を行い、その効果検証を行っている。

令和元年度の人員構成は次のとおりである。部長：橋本亮太、室長：三浦健一郎、松本純弥、流動研究員：長谷川尚美、科研費研究補助員：木村哲也、村上璃佳、山縣眞美子、高村晶子、研究助手：梅田佳子、併任研究員：久保田智香、三浦拓人、佐藤英樹、宮川 希、客員研究員 48 名、研究生 15 名。

II. 研究活動

A. 精神疾患の病態解明と診断法・治療法の開発研究

1) 精神疾患の脳神経画像研究（松本、三浦、橋本）

統合失調症を中心に三次元脳構造画像解析、拡散テンソル画像解析、安静時機能的 MRI 解析などを行い、今年度は 7 編の論文成果があった。COCORO の多施設共同研究にて統合失調症、双極性障害、うつ病、自閉スペクトラム症、健常者合わせて 2937 例の拡散テンソル画像のメガアナリシスを行い、統合失調症と双極性障害の共通の大脳白質の微小構造異常を見出し、プレスリリースを行った（橋本、Koshiyama et al, Mol Psychiatry, 2020）。精神疾患の脳画像研究では、MRI 機種間の差が大きく疾患による差の検出が難しいことが問題とされている為、三次元 T1 強調脳構造画像を用いて、MRI 機種間の差を超えた統合失調症の脳画像の特徴を抽出し、73% の精度を得た（橋本、Nemoto et al, Psychiatry Cli Neurosci, 2020）。国際的な脳神経画像の巨大コンソーシアムである ENIGMA との共同研究では 3 編の論文成果があった。

2) 精神疾患の眼球運動研究（三浦、松本、橋本）

統合失調症を中心にフリービューリング課題、滑動性追跡眼球運動課題、注視課題などから得られた眼球運動の特徴、および眼球運動異常を示す眼球運動スコアの解析などを行い、今年度は 6 編の論文成果があった。統合失調症の眼球運動スコアとフリービューリング時の視線の総移動距離が左下前頭回弁蓋部の皮質厚と相關すること（三浦、橋本、Morita et al, Schizophr Res, 2019），視線の総移動距離がウェクスター成人知能検査のスコアと関連すること（三浦、橋本、Morita et al, Schizophr Res, 2019）を示した。さらに、統合失調症と自閉スペクトラム症の眼球運動異常の違いを示した（三浦、橋本、Shiino et al, Neuropsychopharmacol Rep, 2019）。その他、眼球運動の基礎研究の国内共同研究と総説を含む 3 編の論文成果があった。

3) 認知社会機能プロジェクト（橋本、松本）

広く診療で使えるような統合失調症の認知機能障害の簡便な測定法を開発し、2000例程度のデータを COCORO にて集積して解析し、普及のため各地で講習会などを行っている。認知機能障害は、簡略版 WAIS で測定する推定知能と Japanese Adult Reading Test (JART) で測定する推定病前知能の差にて算出したものである。この統合失調症の認知機能障害のメカニズムを安静時機能的 MRI にて解析し、側坐核・前頭葉の神経回路が関与することを見出した（橋本、Yasuda et al, Psychiatry Cli Neurosci, 2020）。

4) 精神疾患の分子メカニズム研究（橋本、松本）

大阪大学との共同研究にて、自閉スペクトラム症にて多くの突然変異が同定されているものの、その機能がほとんどわかっていない POGZ タンパク質が脳の正常な発達に必要であり、その疾患突然変異による POGZ の機能低下によって、マウス脳の発達期における神経細胞の発達、および自閉スペクトラム症と関連する社会性行動に障害を与えることを新たに見出し、プレスリリースを行った（橋本、Matsumura et al, Nature Comm, 2020）。また、福島県立医科大学との共同研究では精神疾患死後脳解析で3編の論文成果があった。

5) 司法精神医学領域の生物学的研究（柏木、竹田、三浦、松本、橋本）

暴力の既往のある統合失調症群、暴力の既往のない統合失調症群、健常者データ 1600 例以上を COCORO データベースから抽出し、認知機能、精神病理、社会機能、QOL 等について解析した。犯罪被害者となったてんかん患者の判決文データベース調査を行った。

B. 精神科医療の普及・均てん化に関する研究

1) 精神科治療ガイドラインの普及・教育・検証活動：EGUIDE プロジェクト（長谷川、久保田、三浦健一郎、松本、三浦拓人、佐藤、柏木、橋本）

EGUIDE プロジェクトは、精神科医に対してガイドラインの教育の講習を行い、ガイドラインの効果を検証する社会実証研究である。対象とするガイドラインは、統合失調症薬物治療ガイドラインとうつ病治療ガイドラインであり、日本神経精神薬理学会、日本うつ病学会、日本臨床精神神経薬理学会のバックアップを受けて行っている。2016 年に開始した EGUIDE プロジェクトは、本年度 44 大学 182 医療機関が参加する巨大なプロジェクトになり、毎年 20 回以上の講習会を全国で行い、延べ 2000 名以上の精神科医が講習を受講した。EGUIDE プロジェクトにおける検証活動は、講習受講直後のガイドラインの理解度の向上、その後のガイドラインを遵守した治療行動調査における実践度の向上、処方行動を診療の質 (Quality Indicator: QI) という形で測定し、例えば統合失調症患者の退院時の抗精神病薬単剤治療率というような QI を設定し、経時的に測定することにより、講習の効果の有無についての検討を行い、多数の学会発表を行った。本年度は、たった一日の講習を受けることにより統合失調症とうつ病の両方のガイドラインに対する理解度が顕著に向かることを示し、プレスリリースを行った（橋本、Takaesu, et al, Psychiatry Cli Neurosci, 2019）。日本の精神医学領域ではこのような社会実装研究はまだ認知されていなかったが、この研究により広く認知されるようになった。

2) 精神科治療ガイドラインの作成・改訂（橋本）

統合失調症薬物治療ガイドラインを当事者・家族・支援者と共同で改訂をしている。精神科領域では初めての試みであり、他の診療領域においても先進的な取り組みである。うつ病治療ガイドラインの改訂にもかかわっている。日本医療機能評価機能の EBM 推進事業である Minds における Minds 診療ガイドラインの有効性評価に関する検討会の委員を務め、ガイドライン作成者向け情報として EGUIDE プロジェクトの内容を「ガイドラインの活用と有効性評価」として作成し、「診療ガイドラインの普及と医療の質向上の評価」について提言を行った。

III. 社会的活動に関する評価

(1) 市民社会に対する一般的な貢献

- 第6回NCNPメディア塾において、「精神疾患病態研究におけるDSMとRDoCの功罪」についての講演を行った。また、コメディカルなどを対象とした研修会の講師を務め、専門知識の啓発活動を行った（橋本）。

(2) 専門教育面における貢献

- 統合失調症やうつ病などのガイドラインの作成を行い、精神科治療ガイドラインの普及・教育・検証活動であるEGUIDEプロジェクトも全国展開している。EGUIDEプロジェクトにおいては、統合失調症薬物治療ガイドラインとうつ病治療ガイドラインの講習を全国の精神科医を対象に行い、その医療機関における治療に影響を与えるかどうかについての検討を行い、精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果を検証している。令和元年度は、全国で26回の講習を行い200名以上が参加した（橋本）。
- 開発した統合失調症の認知機能障害の簡便な測定法についての講習会を統合失調症学会において行い、評価シートを配布し普及活動を行った（橋本）。
- 国立大学法人 大阪大学の医学系研究科、連合小児発達学研究科および情報科学研究科においては招へい教授として、奈良県立医科大学においては非常勤講師として、精神医学研究の指導や知見の教授を行っている（橋本）。

(3) 精研の研修の主催と協力

(4) 保健医療行政政策に関する研究・調査、委員会等への貢献

- 日本精神神経学会、日本生物学的精神医学会、日本神経精神薬理学会、日本うつ病学会など13の精神医学関連諸学会がまとめた「精神疾患の克服と障害支援にむけた研究推進」の政策提言の作成を昨年度行ったが、今年度は当事者・家族・支援者向けの簡略版の作成に従事した。この提言では、本邦の精神疾患研究の現状と総力を挙げてとりくむべき課題やロードマップを示したうえで、精神疾患の研究を行い、病態の解明、診断法・治療法の開発、介入法を開発することは国民の保健・医療・福祉の向上に資するのみならず、大きな社会の負担を軽減し産業振興に寄与すると提言している（橋本）。
- 公益財団法人 日本医療機能評価機構 EBM 医療情報部 診療ガイドライン活用促進課より依頼を受け、診療ガイドラインの有効性評価に関する検討会委員を務めた。ガイドラインを作成する立場から、診療ガイドライン活用の取り組みを資料にまとめ、ガイドラインの活用と有効性評価について、実際に診療ガイドラインの活用（普及、導入、評価）、QIやデータベースについて発表を行うなど、診療ガイドラインの有効性評価に関して指導・助言・考察を行った（橋本）。

(5) センター内における臨床的活動

週に一日外来を行っており、中でも統合失調症外来を担当している。

(6) その他

IV. 研究業績

A. 刊行物

(1) 原著論文

- 1) Sonderby IE, Gustafsson O, Doan NT, Hibar DP, Martin-Brevet S, Abdellaoui A, Ames D, Amunts K, Andersson M, Armstrong NJ, Bernard M, Blackburn N, Blangero J, Boomsma

- DI, Bralten J, Brattbak HR, Brodaty H, Brouwer RM, Bülow R, Calhoun V, Caspers S, Cavalleri G, Chen CH, Cichon S, Ciufolini S, Corvin A, Crespo-Facorro B, Curran JE, Dale AM, Dalvie S, Dazzan P, de Geus EJC, de Zubicaray GI, de Zwarte SMC, Delanty N, den Braber A, Desrivieres S, Donohoe G, Draganski B, Ehrlich S, Espeseth T, Fisher SE, Franke B, Frouin V, Fukunaga M, Gareau T, Glahn DC, Grabe H, Groenewold NA, Haavik J, Haberg A, Hashimoto R (151名中52番目), Hehir-Kwa JY, Heinz A, Hillegers MHJ, Hoffmann P, Holleran L, Hottenga JJ, Hulshoff HE, Ikeda M, Jahanshad N, Jernigan T, Jockwitz C, Johansson S, Jonsdottir GA, Jönsson EG, Kahn R, Kaufmann T, Kelly S, Kikuchi M, Knowles EEM, Kolskår KK, Kwok JB, Hellard SL, Leu C, Liu J, Lundervold AJ, Lundervold A, Martin NG, Mather K, Mathias SR, McCormack M, McMahon KL, McRae A, Milaneschi Y, Moreau C, Morris D, Mothersill D, Muhleisen TW, Murray R, Nordvik JE, Nyberg L, Olde Loohuis LM, Ophoff R, Paus T, Pausova Z, Penninx B, Peralta JM, Pike B, Prieto C, Pudas S, Quinlan E, Quintana DS, Reinbold CS, Marques TR, Reymond A, Richard G, Rodriguez-Herreros B, Roiz-Santianez R, Rokicki J, Rucker J, Sachdev P, Sanders AM, Sando SB, Schmaal L, Schofield PR, Schork AJ, Schumann G, Shin J, Shumskaya E, Sisodiya S, Steen VM, Stein DJ, Steinberg S, Strike L, Teumer A, Thalamuthu A, Tordesillas-Gutierrez D, Turner J, Ueland T, Uhlmann A, Ulfarsson MO, van 't Ent D, van der Meer D, van Haren NEM, Vaskinn A, Vassos E, Walters GB, Wang Y, Wen W, Whelan CD, Wittfeld K, Wright M, Yamamori H, Zayats T, Agartz I, Westlye LT, Jacquemont S, Djurovic S, Stefansson H, Stefansson K, Thompson P, Andreassen OA; European Consortium, for the ENIGMA-CNV working group: Dose response of the 16p11.2 distal copy number variant on intracranial volume and basal ganglia. Mol Psychiatry 25(3):584-602, 2020.
- 2) Grasby KL, Jahanshad N, Painter JN, Colodro-Conde L, Bralten J, Hibar DP, Lind PA, Pizzagalli F, Ching CRK, McMahon MAB, Shatokhina N, Zsembik LCP, Thomopoulos SI, Zhu AH, Strike LT, Agartz I, Alhusaini S, Almeida MAA, Alnæs D, Amlie IK, Andersson M, Ard T, Armstrong NJ, Ashley-Koch A, Atkins JR, Bernard M, Brouwer RM, Buimer EEL, Bulow R, Bürger C, Cannon DM, Chakravarty M, Chen Q, Cheung JW, Couvy-Duchesne B, Dale AM, Dalvie S, de Araujo TK, de Zubicaray GI, de Zwarte SMC, den Braber A, Doan NT, Dohm K, Ehrlich S, Engelbrecht HR, Erk S, Fan CC, Fedko IO, Foley SF, Ford JM, Fukunaga M, Garrett ME, Ge T, Giddaluru S, Goldman AL, Green MJ, Groenewold NA, Grotegerd D, Gurholt TP, Gutman BA, Hansell NK, Harris MA, Harrison MB, Haswell CC, Hauser M, Herms S, Heslenfeld DJ, Ho NF, Hoehn D, Hoffmann P, Holleran L, Hoogman M, Hottenga JJ, Ikeda M, Janowitz D, Jansen IE, Jia T, Jockwitz C, Kanai R, Karama S, Kasperaviciute D, Kaufmann T, Kelly S, Kikuchi M, Klein M, Knapp M, Knott AR, Kramer B, Lam M, Lancaster TM, Lee PH, Lett TA, Lewis LB, Lopes-Cendes I, Luciano M, Maciardi F, Marquand AF, Mathias SR, Melzer TR, Milaneschi Y, Mirza-Schreiber N, Moreira JCV, Mühleisen TW, Muller-Myhsok B, Najt P, Nakahara S, Nho K, Olde Loohuis LM, Orfanos DP, Pearson JF, Pitcher TL, Putz B, Quide Y, Ragotaman A, Rashid FM, Reay WR, Redlich R, Reinbold CS, Repple J, Richard G, Riedel BC, Risacher SL, Rocha CS, Mota NR, Salminen L, Saremi A, Saykin AJ, Schlag F, Schmaal L, Schofield PR, Secolin R, Shapland CY, Shen L, Shin J, Shumskaya E, Sønderby IE, Sprooten E, Tansey KE, Teumer A, Thalamuthu A, Tordesillas-Gutierrez D, Turner JA, Uhlmann A, Vallerga CL, van der Meer D, van Donkelaar MMJ, van Eijk L, van Erp TGM, van Haren NEM, van Rooij D, van Tol MJ, Veldink JH, Verhoef E, Walton E, Wang M, Wang Y, Wardlaw JM, Wen W, Westlye LT, Whelan CD, Witt SH, Wittfeld K, Wolf C, Wolfers T, Wu JQ, Yasuda CL, Zaremba D,

- Zhang Z, Zwiers MP, Artiges E, Assareh AA, Ayesa-Arriola R, Belger A, Brandt CL, Brown GG, Cichon S, Curran JE, Davies GE, Degenhardt F, Dennis MF, Dietsche B, Djurovic S, Doherty CP, Espiritu R, Garijo D, Gil Y, Gowland PA, Green RC, Hqusler AN, Heindel W, Ho BC, Hoffmann WU, Holsboer F, Homuth G, Hosten N, Jack CR Jr, Jang M, Jansen A, Kimbrel NA, Kolskar K, Koops S, Krug A, Lim KO, Luykx JJ, Mathalon DH, Mather KA, Mattay VS, Matthews S, Mayoral Van Son J, McEwen SC, Melle I, Morris DW, Mueller BA, Nauck M, Nordvik JE, Nothen MM, O'Leary DS, Opel N, Martinot MP, Pike GB, Preda A, Quinlan EB, Rasser PE, Ratnakar V, Reppermund S, Steen VM, Tooney PA, Torres FR, Veltman DJ, Voyvodic JT, Whelan R, White T, Yamamori H, Adams HHH, Bis JC, Debette S, Decarli C, Fornage M, Gudnason V, Hofer E, Ikram MA, Launer L, Longstreth WT, Lopez OL, Mazoyer B, Mosley TH, Roshchupkin GV, Satizabal CL, Schmidt R, Seshadri S, Yang Q; Alzheimer's Disease Neuroimaging Initiative; CHARGE Consortium; EPIGEN Consortium; IMAGEN Consortium; SYS Consortium; Parkinson's Progression Markers Initiative, Alvim MKM, Ames D, Anderson TJ, Andreassen OA, Arias-Vasquez A, Bastin ME, Baune BT, Beckham JC, Blangero J, Boomsma DI, Brodaty H, Brunner HG, Buckner RL, Buitelaar JK, Bustillo JR, Cahn W, Cairns MJ, Calhoun V, Carr VJ, Caseras X, Caspers S, Cavalleri GL, Cendes F, Corvin A, Crespo-Facorro B, Dalrymple-Alford JC, Dannlowski U, de Geus EJC, Deary IJ, Delanty N, Depondt C, Desrivieres S, Donohoe G, Espeseth T, Fernandez G, Fisher SE, Flor H, Forstner AJ, Francks C, Franke B, Glahn DC, Gollub RL, Grabe HJ, Gruber O, Haberg AK, Hariri AR, Hartman CA, Hashimoto R (360 名中 299 番目), Heinz A, Henskens FA, Hillegers MHJ, Hoekstra PJ, Holmes AJ, Hong LE, Hopkins WD, Hulshoff Pol HE, Jernigan TL, Jonsson EG, Kahn RS, Kennedy MA, Kircher TTJ, Kochunov P, Kwok JBJ, Le Hellard S, Loughland CM, Martin NG, Martinot JL, McDonald C, McMahon KL, Meyer-Lindenberg A, Michie PT, Morey RA, Mowry B, Nyberg L, Oosterlaan J, Ophoff RA, Pantelis C, Paus T, Pausova Z, Penninx BWJH, Polderman TJC, Posthuma D, Rietschel M, Roffman JL, Rowland LM, Sachdev PS, Samann PG, Schall U, Schumann G, Scott RJ, Sim K, Sisodiya SM, Smoller JW, Sommer IE, St Pourcain B, Stein DJ, Toga AW, Trollor JN, Van der Wee NJA, van 't Ent D, Völzke H, Walter H, Weber B, Weinberger DR, Wright MJ, Zhou J, Stein JL, Thompson PM, Medland SE; Enhancing NeuroImaging Genetics through Meta-Analysis Consortium (ENIGMA) Genetics working group: The genetic architecture of the human cerebral cortex. *Science* 367(6484):1340(eaay6690), 2020.
- 3) Shiino T, Miura K, Fujimoto M, Kudo N, Yamamori H, Yasuda Y, Ikeda M, Hashimoto R: Comparison of eye movements in schizophrenia and autism spectrum disorder. *Neuropsychopharmacol Rep* 40(1):92-95, 2020.
 - 4) Yasuda Y, Okada N, Nemoto K, Fukunaga M, Yamamori H, Ohi K, Koshiyama D, Kudo N, Shiino T, Morita S, Morita K, Azechi H, Fujimoto M, Miura K, Watanabe Y, Kasai K, Hashimoto R: Brain morphological and functional features in cognitive subgroups of Schizophrenia. *Psychiatry Clin Neurosci* 74(3):191-203, 2020.
 - 5) Matsumura K, Seiriki K, Okada S, Nagase M, Ayabe S, Yamada I, Furuse T, Shibuya H, Yasuda Y, Yamamori H, Fujimoto M, Nagayasu K, Yamamoto K, Kitagawa K, Miura H, Gotoda-Nishimura N, Igarashi H, Hayashida M, Baba M, Kondo M, Hasebe S, Ueshima K, Kasai A, Ago Y, Hayata-Takano A, Shintani N, Iguchi T, Sato M, Yamaguchi S, Tamura M, Wakana S, Yoshiki A, Watabe AM, Okano H, Takuma K, Hashimoto R, Hashimoto H, Nakazawa T: Pathogenic POGZ mutation causes impaired cortical development and reversible autism-like phenotypes. *Nat Commun* 11(1):859, 2020.

- 6) Nemoto K, Shimokawa T, Fukunaga M, Yamashita F, Tamura M, Yamamori H, Yasuda Y, Azechi H, Kudo N, Watanabe Y, Kido M, Takahashi T, Koike S, Okada N, Hirano Y, Onitsuka T, Yamasue H, Suzuki M, Kasai K, Hashimoto R, Arai T: Differentiation of schizophrenia using structural MRI with consideration of scanner differences: A real-world multi-site study. *Psychiatry Clin Neurosci* 74(1):56-63, 2020.
- 7) Baba M, Yokoyama K, Seiriki K, Naka Y, Matsumura K, Kondo M, Yamamoto K, Hayashida M, Kasai A, Ago Y, Nagayasu K, Hayata-Takano A, Takahashi A, Yamaguchi S, Mori D, Ozaki N, Yamamoto T, Takuma K, Hashimoto R, Hashimoto H, Nakazawa T: Psychiatric-disorder-related behavioral phenotypes and cortical hyperactivity in a mouse model of 3q29 deletion syndrome. *Neuropsychopharmacology* 44(12):2125-2135, 2019.
- 8) Matsumura K, Baba M, Nagayasu K, Yamamoto K, Kondo M, Kitagawa K, Takemoto T, Seiriki K, Kasai A, Ago Y, Hayata-Takano A, Shintani N, Kuriu T, Iguchi T, Sato M, Takuma K, Hashimoto R, Hashimoto H: Autism-associated protein kinase D2 regulates embryonic cortical neuron development. *Biochem Biophys Res Commun* 519(3):626-632, 2019.
- 9) Takaesu Y, Watanabe K, Numata S, Iwata M, Kudo N, Oishi S, Takizawa T, Nemoto K, Yasuda Y, Tagata H, Tsuboi T, Tsujino N, Hashimoto N, Matsui Y, Hori H, Yamamori H, Sugiyama N, Suwa T, Kishimoto T, Hishimoto A, Usami M, Furihata R, Iwamoto K, Fujishiro H, Nakamura T, Mizuno K, Inagaki T, Katsumoto E, Tomita H, Ohi K, Muraoka H, Atake K, Iida H, Nagasawa T, Fujita J, Yamamura S, Onitsuka T, Murata A, Takayanagi Y, Noda H, Matsumura Y, Takezawa K, Iga J, Ichihashi K, Ogasawara K, Yamada H, Inada K, Hashimoto R: Improvement of psychiatrists' clinical knowledge of the "Effectiveness of Guidelines for Dissemination and Education in psychiatric treatment (EGUIDE)" project: a nationwide dissemination, education and evaluation study. *Psychiatry Clin Neurosci* 73(10):642-648, 2019.
- 10) Oya K, Sakuma K, Esumi S, Hashimoto Y, Hatano M, Matsuda Y, Matsui Y, Miyake N, Nomura I, Okuya M, Iwata N, Kato M, Hashimoto R, Mishima K, Watanabe N, Kishi T: Efficacy and safety of lithium and lamotrigine for the maintenance treatment of clinically stable patients with bipolar disorder: A systematic review and meta-analysis of double-blind, randomized, placebo-controlled trials with an enrichment design. *Neuropsychopharmacol Rep* 39(3):241-246, 2019.
- 11) Ohi K, Sumiyoshi C, Fujino H, Yasuda Y, Yamamori H, Fujimoto M, Sumiyoshi T, Hashimoto R: A 1.5-year longitudinal study of social activity in patients with schizophrenia. *Front Psychiatry section Schizophrenia* 10:567, 2019.
- 12) Morita K, Miura K, Fujimoto M, Yamamori H, Yasuda Y, Kudo N, Azechi H, Okada N, Koshiyama D, Shiino T, Fukunaga M, Watanabe Y, Ikeda M, Kasai K, Hashimoto R: Eye movement characteristics of schizophrenia and their association with cortical thickness. *Psychiatry Clin Neurosci* 73(8): 508-509, 2019.
- 13) Morita K, Miura K, Fujimoto M, Yamamori H, Yasuda Y, Kudo N, Azechi H, Okada N, Koshiyama D, Ikeda M, Kasai K, Hashimoto R: Eye movement abnormalities and their association with cognitive impairments in schizophrenia. *Schizophr Res* 209:255-262, 2019.
- 14) Ikeda M, Takahashi A, Kamatani Y, Momozawa Y, Saito T, Kondo K, Shimasaki A, Kawase K, Sakusabe T, Iwayama Y, Toyota T, Wakuda T, Kikuchi M, Kanahara N, Yamamori H, Yasuda Y, Watanabe Y, Hoya S, Aleksic B, Kushima I, Arai H, Takaki M, Hattori K, Kunugi H, Okahisa Y, Ohnuma T, Ozaki N, Someya T, Hashimoto R, Yoshikawa T, Kubo M, Iwata N: Genome-Wide Association Study Detected Novel Susceptibility Genes for Schizophrenia

- and Shared Trans-Populations/Diseases Genetic Effect. *Schizophr Bull* 45(4):824-834, 2019.
- 15) van Erp TGM, Walton E, Hibar DP, Schmaal L, Jiang W, Glahn DC, Pearlson GD, Yao N, Fukunaga M, Hashimoto R (109名中10番目), Okada N, Yamamori H, Clark VP, Mueller BA, de Zwart SMC, Ophoff RA, van Haren NEM, Andreassen OA, Gurholt TP, Gruber O, Kraemer B, Richter A, Calhoun VD, Crespo-Facorro B, Roiz-Santianez R, Tordesillas-Gutierrez D, Loughland C, Catts S, Fullerton JM, Green MJ, Henskens F, Jablensky A, Mowry BJ, Pantelis C, Quide Y, Schall U, Scott RJ, Cairns MJ, Seal M, Tooney PA, Rasser PE, Cooper G, Shannon Weickert C, Weickert TW, Hong E, Kochunov P, Gur RE, Gur RC, Ford JM, Macciardi F, Mathalon DH, Potkin SG, Preda A, Fan F, Ehrlich S, King MD, De Haan L, Veltman DJ, Assogna F, Banaj N, de Rossi P, Iorio M, Piras F, Spalletta G, Pomarol-Clotet E, Kelly S, Ciufolini S, Radua J, Murray R, Marques TR, Simmons A, Borgwardt S, Schonborn-Harrisberger F, Riecher-Rossler A, Smieskova R, Alpert KI, Bertolino A, Bonvino A, Di Giorgio A, Neilson E, Mayer AR, Yun JY, Cannon DM, Lebedeva I, Tomyshev AS, Akhadov T, Kaleda V, Fatouros-Bergman H, Flyckt L; Karolinska Schizophrenia Project, Rosa PGP, Serpa MH, Zanetti MV, Hoschl C, Skoch A, Spaniel F, Tomecek D, McIntosh AM, Whalley HC, Knöchel C, Oertel-Knöchel V, Howells FM, Stein DJ, Temmingh HS, Uhlmann A, Lopez-Jaramillo C, Dima D, Faskowitz JI, Gutman BA, Jahanshad N, Thompson PM, Turner JA: Reply to: New Meta- and Mega-analyses of Magnetic Resonance Imaging Findings in Schizophrenia: Do They Really Increase Our Knowledge About the Nature of the Disease Process? *Biol Psychiatry* 85(7):e35-e39, 2019.
 - 16) Ono S, Miura K, Kawamura T, Kizuka T: Asymmetric smooth pursuit eye movements and visual motion reaction time. *Physiol Rep* 7(14):e14187, 2019.
 - 17) Kunii Y, Hino M, Matsumoto J, Nagaoka A, Nawa H, Kakita A, Akatsu H, Hashizume Y, Yabe H: Differential protein expression of DARPP-32 versus Calcineurin in the prefrontal cortex and nucleus accumbens in schizophrenia and bipolar disorder. *Sci Rep* 16:9(1):14877, 2019.
 - 18) Ohnishi T, Balan S, Toyoshima M, Maekawa M, Ohba H, Watanabe A, Iwayama Y, Fujita Y, Tan Y, Hisano Y, Shimamoto-Mitsuyama C, Nozaki Y, Esaki K, Nagaoka A, Matsumoto J, Hino M, Mataga N, Hayashi-Takagi A, Hashimoto K, Kunii Y, Kakita A, Yabe H, Yoshikawa T: Investigation of betaine as a novel psychotherapeutic for schizophrenia. *EBioMedicine* 45:432-446, 2019.
 - 19) Ono CT, Yu Z, Kikuchi Y, Kunii Y, Hino M, Matsumoto J, Nagaoka A, Ito J, Iwasaki Y, Hagihara H, Miyakawa T, Yoshida M, Saito Y, Niwa SI, Yabe H, Kakita A, Tomita H: Minimal amount of tissue-based pH measurement to improve quality control in neuropsychiatric post-mortem brain studies. *Psychiatry Clin Neurosci* 73(9):566-573, 2019.

(2) 総説

- 1) Morita K, Miura K, Kasai K, Hashimoto R: Eye movement characteristics in schizophrenia: A recent update with clinical implications. *Neuropsychopharmacol Rep* 40(1):2-9, 2020.
- 2) Nakazawa T, Hashimoto R, Takuma K, Hashimoto H: Current Perspective: Modeling of psychiatric disorders using induced pluripotent stem cell-related technologies. *J Pharmacol Sci* 140(4):321-324, 2019.
- 3) 橋本亮太：卷頭言；精神疾患の客観的科学的診断法の開発の方法について再考する。日本生物学的精神医学会誌 31(1):1, 2020.
- 4) 橋本亮太：精神科診断が乗り越えるべきもの：未来への展望。精神科診断学 13(1):27-34, 2020.
- 5) 橋本亮太, 稲田 健：精神科治療ガイドラインの普及・教育・検証活動：EGUIDE プロジェク

- ト. 医学のあゆみ 272(2):188-193, 2020.
- 6) 橋本亮太：精神科医療における標準治療の課題と展望. 日本精神科病院協会雑誌 37(別冊) : 150-151, 2019.
- 7) 三浦健一郎, 橋本亮太:統合失調症の診療におけるAIの活用. 臨床精神医学 48(9):1043-1047. 2019.
- 8) 橋本亮太, 中込和幸:指導医に求められる薬物療法の教育方法. 臨床精神薬理 22(5):515-519, 2019.
- 9) 稲田 健, 村岡寛之, 橋本亮太:統合失調症薬物治療の新たな原則と注意点. 臨床精神薬理 22(4): 341-346, 2019.
- (3) 著書
- 1) Miura K, Takemura A, Taki M, Kawano K : Chapter 24 Model of optokinetic responses involving two different visual motion processing pathways. In Progress in Brain Research, Vol. 248, Mathematical Modelling in Motor Neuroscience: State of the Art and Translation to the Clinic. Ocular Motor Plant and Gaze Stabilization Mechanisms, Edited by Ramat S and Shaikh AG, Academic Press, pp329-340, 2019.
- (4) 研究報告書
- 1) 橋本亮太:大規模患者リソース及びiPS技術を用いた統合失調症の病態予測のバイオマーカー開発. 2019年度科学研究費助成事業基盤研究(B)特設分野研究 研究実施状況報告書. 2020.
- 2) 橋本亮太:発達障害のリスク遺伝子の同定. 2019年度科学研究費助成事業特別推進研究「発達障害に関わる神経生物学的機構の靈長類的基盤の解明(代表:高田昌彦)」2019年度研究実績報告書. 2020.
- 3) 橋本亮太:EGUIDEでの調査研究. 平成31年度厚生労働科学研究費補助金 障害者政策総合研究事業(精神障害分野)「向精神薬の適切な継続・減量・中止等の精神科薬物療法の出口戦略の実践に資する研究(代表:三島和夫)」分担研究報告書. 2020.
- 4) 橋本亮太:精神医療分野における治療の質を評価するQIとその向上をもたらす介入技法の開発と実用性の検証. 2019年度日本医療研究開発機構 長寿・障害総合研究事業 障害者対策総合研究開発事業(精神障害分野)2019年度 委託研究開発成果報告書. 2020.
- 5) 橋本亮太:気分障害と統合失調症の疾患連続性に関する脳画像等の総合的解析研究. H31年度日本医療研究開発機構 戰略的国際脳科学研究推進プログラム 「縦断的MRIデータに基づく成人期気分障害と関連疾患の神経回路の解明(研究開発代表者:岡本泰昌)」2019年度 委託研究開発成果報告書. 2020.
- 6) 橋本亮太:レジストリの構築(評価項目の品質管理). H31年度日本医療研究開発機構 長寿・障害総合研究事業 障害者対策総合研究開発事業(精神障害分野)「精神疾患レジストリの構築・統合により新たな診断・治療法を開発するための研究(研究開発代表者:中込和幸)」2019年度 委託研究開発成果報告書. 2020.
- 7) 橋本亮太:うつ症状に関する精神疾患横断的な血漿を用いたバイオマーカー開発. H31年度日本医療研究開発機構 長寿・障害総合研究事業 障害者対策総合研究開発事業(精神障害分野)「血液メタボローム解析による精神疾患の層別化可能な客観的評価法の確立と治療最適化への応用(研究開発代表者:加藤隆弘)」2019年度 委託研究開発成果報告書. 2020.
- 8) 三浦健一郎:眼球運動の状況予測性解析法の研究開発と疾患横断的理解. H31年度日本医療研究開発機構 革新的技術による脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト「双向トランスレーショナルアプローチによる精神疾患の脳予測性障害機序に関する研究開発(研究開発代表者:小池進介)」2019年度 委託研究開発成果報告書. 2020.
- 9) 松本純弥:心因性疼痛の治療と認知機能障害の関連. 2019年度科学研究費助成事業 若手研究

研究実施状況報告書. 2020.

- 10) 安田由華：実践マニュアルの資材作成と利活用に関する研究. 平成 31 年度厚生科学研究費補助金 障害者政策総合研究事業（精神障害分野）「向精神薬の適切な継続・減量・中止等の精神科薬物療法の出口戦略の実践に資する研究（代表：三島和夫）」分担研究報告書. 2020.

(5) 翻訳

(6) その他

- 1) 橋本亮太, 稲田 健：インタビュー～「統合失調症薬物治療ガイドライン（EGUIDE プロジェクト）」の取り組みから～講習会による診療ガイドライン普及のこころみ. 聞き手・編集・構成：日本医療機能評価機構 EBM 普及推進事業 Minds 事務局.
https://minds.jcqhc.or.jp/s/dissemination_and_evaluation_3. 2020.

B. 学会・研究会における発表

- (1) 学会特別講演, 教育講演, シンポジウム, ワークショップ, パネルディスカッション等
 - 1) Hashimoto R: The ENIGMA and COCORO: Replication and Harmonization. Symposium "International neuroimaging big data collaborations: ENIGMA and COCORO". 6th Congress of Asian College of Neuropsychopharmacology (AsCNP), Fukuoka, 2019.10.11.
 - 2) Miura K: Two frame apparent motion presented with inter-stimulus interval reverses ocular and neuronal responses in macaque monkeys. The Kyoto Symposium on the Eye and Head Movement Control Systems Pre-NCM(2019), Kyoto, 2019.4.21.
 - 3) 橋本亮太：統合失調症の認知社会機能障害の簡便な測定法. ワークショップ：第 14 回日本統合失調症学会, 北海道, 2019.4.19.
 - 4) 稲田 健, 橋本亮太, 堀合研二郎, 加藤 玲, 市橋香代, 藤井哲也, よしみ佐藤, 池田キュア, 橋本直樹：当事者・家族・支援者と活用する統合失調症薬物治療ガイドの普及にむけて. シンポジウム「統合失調症薬物治療ガイド-患者さん・ご家族・支援者のために-」, 第 14 回日本統合失調症学会, 北海道, 2019.4.20.
 - 5) 橋本亮太：アクセプトされる精神医学研究論文の書き方～査読コメントへの対応の仕方～. ワークショップ：アクセプトされる精神医学研究論文の書き方, 第 115 回日本精神神経学会学術総会, 新潟, 2019.6.21.
 - 6) 橋本亮太：体の痛みを考える～精神科の立場から～. 特別企画：スポーツとこころの関係～疾病から治療まで～, 第 45 回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 大阪, 2019.8.30.
 - 7) 橋本亮太：精神科診断が乗り越えるべきもの：未来への展望. 教育講演：第 39 回日本精神科診断学会, 京都, 2019.9.21.
 - 8) 池田匡志, 高橋 篤, 鎌谷洋一郎, 桃沢幸秀, 斎藤竹生, 近藤健治, 島崎愛夕, 川瀬康平, 作佐部太也, 岩山佳美, 豊田倫子, 和久田智靖, 菊地 充, 金原信久, 山森英長, 安田由華, 渡部雄一郎, 保谷智史, アレクシッチブランコ, 久島 周, 新井平伊, 高木 学, 服部功太郎, 功刀 浩, 岡久祐子, 大沼 徹, 尾崎紀夫, 染矢俊幸, 橋本亮太, 吉川武男, 久保充明, 岩田伸生 : Genome-wide association study detected novel susceptibility genes for schizophrenia and shared trans-populations/diseases genetic effect. CNP ポール・ヤンセン賞受賞講演, 第 29 回日本臨床精神神経薬理学会, 福岡, 2019.10.12.
 - 9) 橋本亮太：ガイドラインの臨床現場での位置づけ. シンポジウム「統合失調症薬物治療ガイドライン改訂版の狙いと範囲」, 第 29 回日本臨床精神神経薬理学会, 福岡, 2019.10.11.
 - 10) 橋本亮太, 宇野洋太, 松本純弥, 住吉チカ, 森田健太郎, 越山太輔, 岡田直大, 藤野陽生, 大井一高, 藤本美智子, 安田由華, 山森英長, 住吉太幹, 根本清貴, 福永雅喜, 三浦健一郎 : 精神疾患のバイオタイプ概説. JSNP/JSCNP 合同シンポジウム「精神疾患のバイオタイプの過

去・現在・未来への展望」，第 49 回日本神経精神薬理学会・第 29 回日本臨床精神神経薬理学会，福岡，2019.10.12.

(2) 一般演題

- 1) Sumiyoshi C, Ohi K, Fujino H, Yamamori H, Kudo N, Azechi H, Fujimoto M, Yasuda Y, Sumiyoshi T, Hashimoto R: Association between Work Status and Subjective Aspects of Recovery in Patients with Schizophrenia: A longitudinal study. Schizophrenia International Research Society (SIRS), Orlando, 2019.4.13.
- 2) Fukuda M, The collaborative team for “A co-production project to develop a practical guidance for patient-centered and life-oriented recovery of schizophrenia”: A co-productive development of a practical guidance for patient-centered and life-oriented recovery of schizophrenia in Japan. 7th European Conference on Schizophrenia Research (ECSR), Berlin, 2019.9.27.
- 3) Fujimoto M, Taomoto D, Katakami S, Omi T, Hashimoto R, Yamamori H, Yasuda Y, Makino T, Yoshikawa H, Iwase M, Ikeda M: Clozapine-induced seizure complicated with vertebral fracture, leg paralysis and pulmonary embolism in a patient with treatment-resistant schizophrenia. 6th Congress of Asian College of Neuropsychopharmacology (AsCNP), Fukuoka, 2019.10.13.
- 4) Aoki S, Matsumoto J, Otani K, Toda W, Motoya R, Itagaki S, Miura I, Yabe H: Pilot investigation of group behavioral activation for chronic low back pain (GBA-P). 9th World Congress of Behavioural and Cognitive Therapies, Berlin, 2019.7.20.
- 5) 森田健太郎, 三浦健一郎, 藤本美智子, 宮戸恵美子, 椎野智子, 高橋潤一, 山森英長, 工藤紀子, 畦地裕統, 平野羊嗣, 越山大輔, 岡田直大, 鬼塚俊明, 尾崎紀夫, 笠井清登, 池田 学, 橋本亮太: 総合失調症の眼球運動研究. 第 14 回日本統合失調症学会, 北海道, 2019.4.19.
- 6) 山田 恒, 本山美久仁, 椎野智子, 渡邊衡一郎, 稲田 健, 橋本亮太, 松永寿人: 総合失調症治療に対する治療ガイドライン教育プロジェクト (EGUIDE プロジェクト) の効果 - 過去 2 年の受講者および参加施設のガイドラインに基づく治療行動達成度の変化からの考察 -. 第 14 回日本統合失調症学会, 北海道, 2019.4.20.
- 7) 宇野洋太, 工藤紀子, 山森英長, 藤野陽生, 住吉チカ, 安田由華, 藤本美智子, 勝元榮一, 佐田あゆ美, 畦地裕統, 椎野智子, 松本純弥, 三浦健一郎, 嶋田貴充, 片岡 讓, 高橋潤一, 森田健太郎, 香月あすか, 山本真江里, 岡久祐子, 肥田道彦, 平野羊嗣, 牧之段 学, 中瀧理仁, 橋本直樹, 大井一高, 高橋 努, 根本清貴, 岸本年史, 鈴木道雄, 住吉太幹, 橋本亮太: 精神疾患における認知機能障害と社会活動時間との関連. 第 5 回 CEPD 研究会, 東京, 2019.5.11.
- 8) 島崎愛夕, 斎藤竹生, 大河内 智, 谷口 賢, 二宮光平, 橋本亮太, 池田匡志, 岩田伸生, CPC-J (Clozapine Pharmacogenomics Consortium of Japan : 日本クロザピエン薬理ゲノム学コンソーシアム) : 生来の白血球数・顆粒球数とクロザピエン誘発性顆粒球減少症 : Mendelian Randomization 解析. 第 115 回日本精神神経学会学術総会, 新潟, 2019.6.20.
- 9) 藤本美智子, 山森英長, 安田由華, 加藤 恒, 金倉 讓, 岩瀬真生, 池田 学, 橋本亮太: Clozapine により好酸球増加症が生じたが継続投与が可能であった治療抵抗性統合失調症の一例. 第 115 回日本精神神経学会学術総会, 新潟, 2019.6.20.
- 10) 飯田仁志, 伊賀淳一, 越智紳一郎, 安田由華, 山本智也, 稲田 健, 渡邊衡一郎, 橋本亮太, 川寄弘詔: 精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果に関する研究 (EGUIDE プロジェクト) 参加施設の診療の質の評価. 第 115 回日本精神神経学会学術総会, 新潟, 2019.6.21.
- 11) 堀 輝, 安田由華, 山本智也, 稲田 健, 渡邊衡一郎, 橋本亮太, 吉村玲児: EGUIDE プロジェクト参加施設の大学病院は統合失調症の薬物治療で 1 年後の診療の質に変化があったのか. 第 115 回日本精神神経学会学術総会, 新潟, 2019.6.21.

- 12) 三村 將, 稲垣 中, 井上 猛, 岸本泰士郎, 久住一郎, 齊尾武郎, 齊藤卓弥, 佐藤眞弓, 曽良一郎, 坪井貴嗣, 橋本亮太, 松尾幸治, 三浦智史, 三木和平, 三野 進, 宮岡 等, 渡邊衡一郎: 今期の薬事委員会活動報告. 第 115 回日本精神神経学会学術総会, 新潟, 2019.6.21.
- 13) 橋本亮太, 広報委員会: 日本神経精神薬理学会の概要. 第 115 回日本精神神経学会学術総会, 新潟, 2019.6.21.
- 14) 橋本亮太, 稲田 健, 渡邊衡一郎, EGUIDE プロジェクトメンバーズ: EGUIDE プロジェクト: 精神科治療ガイドラインの普及・教育・検証活動. 第 115 回日本精神神経学会学術総会, 新潟, 2019.6.21.
- 15) 橋本亮太, 稲田 健, 古郡規雄, 中込和幸: 統合失調症薬物治療ガイドライン. 第 115 回日本精神神経学会学術総会, 新潟, 2019.6.21.
- 16) 森尾保徳, 小居秀紀, 橋本亮太, 石郷岡 純, 中込和幸: 日本神経精神薬理学会における産学官協同でのデータシェアリングの取り組み. 第 115 回日本精神神経学会学術総会, 新潟, 2019.6.21.
- 17) 藤本美智子, 三浦健一郎, 森田健太郎, 工藤紀子, 畠地裕統, 山森英長, 安田由華, 池田 学, 橋本亮太: 統合失調症におけるバイオマーカーとしての眼球運動スコアの臨床的意義. 第 41 回日本生物学的精神医学会 若手育成プログラムプログレスレポート ライトニングトーク, 新潟, 2019.6.22.
- 18) 宇野洋太, 工藤紀子, 山森英長, 藤野陽生, 住吉チカ, 安田由華, 藤本美智子, 勝元榮一, 佐田あゆ美, 畠地裕統, 椎野智子, 嶋田貴充, 片岡 讓, 高橋潤一, 森田健太郎, 香月あすか, 山本真江里, 岡久祐子, 肥田道彦, 平野羊嗣, 牧之段 学, 中瀧理仁, 橋本直樹, 大井一高, 高橋努, 根本清貴, 岸本年史, 鈴木道雄, 住吉太幹, 橋本亮太: 精神疾患における認知機能障害と社会活動時間との関連. 第 41 回日本生物学的精神医学会, 新潟, 2019.6.23.
- 19) 椎野智子, 三浦健一郎, 藤本美智子, 工藤紀子, 山森英長, 安田由華, 池田 学, 橋本亮太: 自閉スペクトラム症と統合失調症の眼球運動特性の検討. 第 41 回日本生物学的精神医学会, 新潟, 2019.6.23.
- 20) 森田健太郎, 三浦健一郎, 藤本美智子, 山森英長, 安田由華, 工藤紀子, 畠地裕統, 岡田直大, 越山太輔, 池田 学, 笠井清登, 橋本亮太: 統合失調症における眼球運動・認知機能・社会機能の縦断的関係性の検討. 第 41 回日本生物学的精神医学会, 新潟, 2019.6.23.
- 21) 高橋潤一, 三浦健一郎, 森田健太郎, 藤本美智子, 山森英長, 安田由華, 工藤紀子, 宮戸恵美子, 岡崎康輔, 椎野智子, 笠井清登, 平野羊嗣, 橋本亮太, 鬼塚俊明: 大うつ病性障害における眼球運動異常. 第 41 回日本生物学的精神医学会, 新潟, 2019.6.23.
- 22) 山田 恒, 本山美久仁, 椎野智子, 稲田 健, 渡邊衡一郎, 橋本亮太, 松永寿人: うつ病に対する治療ガイドライン教育プロジェクト (EGUIDE プロジェクト) の効果-ガイドラインに基づく治療行動達成度からの考察-. 第 16 回日本うつ病学会総会, 徳島, 2019.7.5.
- 23) 井出本啓太, 新津富央, 畑発達記, 小田靖典, 木村敦史, 橋本 佐, 亀野陽亮, 蓬萊 政, 山森英長, 戸田重誠, 菅原明豊, 橋本亮太, 中込和幸, 橋本謙二, 伊豫雅臣: 気分障害のバイオマーカーとしての血清中グリア細胞株由来神経栄養因子 (GDNF)に関する多施設共同研究. 第 16 回日本うつ病学会総会, 徳島, 2019.7.5.
- 24) 宇野洋太, 工藤紀子, 山森英長, 藤野陽生, 住吉チカ, 安田由華, 藤本美智子, 勝元榮一, 佐田あゆ美, 畠地裕統, 椎野智子, 嶋田貴充, 片岡 讓, 高橋潤一, 森田健太郎, 香月あすか, 山本真江里, 岡久祐子, 肥田道彦, 平野羊嗣, 牧之段 学, 中瀧理仁, 橋本直樹, 大井一高, 高橋努, 根本清貴, 岸本年史, 鈴木道雄, 住吉太幹, 橋本亮太: 精神疾患における認知機能障害と社会時間活動との関連. 第 16 回日本うつ病学会総会, 徳島, 2019.7.6.
- 25) 高橋潤一, 三浦健一郎, 森田健太郎, 藤本美智子, 山森英長, 安田由華, 工藤紀子, 宮戸恵美子, 岡崎康輔, 椎野智子, 笠井清登, 平野羊嗣, 橋本亮太, 鬼塚俊明: 大うつ病性障害における眼球運動. 第 16 回日本うつ病学会総会, 徳島, 2019.7.6.
- 26) Matsumura K, Seiriki K, Nagase M, Ayabe S, Yamada I, Furuse T, Yamamoto K, Kitagawa

- K, Iguchi T, Sato M, Yamaguchi S, Tamura M, Wakana S, Yoshi A, Watabe AM, Okano H, Takuma K, Hashimoto R, Hashimoto H, Nakazawa T: ASD-related de novo POGZ mutations disrupt cortical neuronal differentiation. 若手道場：第 42 回日本神経科学大会・第 62 回日本神経化学会大会 (Neuro2019), 新潟, 2019.7.26.
- 27) Yamamoto K, Kuriu T, Nakazawa T, Matsumura K, Nayasu K, Baba M, Yamamori H, Yasuda Y, Fujimoto M, Tsurusaki Y, Matsumoto N, Takuma K, Hashimoto R, Hashimoto H: Pathological analysis of neurons from iPS cells derived from patients with schizophrenia in a multiple family. 第 42 回日本神経科学大会・第 62 回日本神経化学会大会 (Neuro2019), 新潟, 2019.7.26.
- 28) Shiino T, Miura K, Fujimoto M, Kudo N, Yamamori H, Yasuda Y, Ikeda M, Hashimoto R: Comparison of eye movement in Autism Spectrum Disorder and Schizophrenia. 第 42 回日本神経科学大会・第 62 回日本神経化学会大会 (Neuro2019), 新潟, 2019.7.27.
- 29) Takamura T, Nakamura T, Yoshinaga K, Ogata Y, Ozaki N, Kasai K, Hashimoto R, Hanakawa T: Multi-site Harmonization of Resting-state functional connectivity MRI data improves classification of major depressive disorder. 第 3 回ヒト脳イメージング研究会, 東京, 2019.9.6.
- 30) 松本純弥, 福永雅喜, 根本清貴, 越山大輔, 三浦健一郎, 岡田直大, 森田健太郎, 山森英長, 宇野洋太, 安田由華, 藤本美智子, 工藤紀子, 畠地裕統, 渡邊嘉之, 笠井清登, 橋本亮太: DTI による大脑白質の髓鞘化/成熟性の評価と社会機能の指標としての労働時間との関連. 第 3 回ヒト脳イメージング研究会, 東京, 2019.9.7.
- 31) 森田健太郎, 三浦健一郎, 藤本美智子, 山森英長, 安田由華, 工藤紀子, 畠地裕統, 岡田直大, 越山大輔, 椎野智子, 福永雅喜, 渡邊嘉之, 笠井清登, 池田 学, 橋本亮太: 統合失調症でみられる眼球運動特徴の神経基盤の検討. 第 3 回ヒト脳イメージング研究会, 東京, 2019.9.7.
- 32) 藤本美智子, 三浦健一郎, 森田健太郎, 工藤紀子, 畠地裕統, 山森英長, 安田由華, 池田 学, 橋本亮太: 統合失調症における眼球運動特性の診断補助的指標としての再現性. 第 39 回日本精神科診断学会, 京都, 2019.9.21.
- 33) 長谷川尚美, 宇野洋太, 安田由華, 山本智也, 渡邊衡一郎, 稲田 健, 橋本亮太: 統合失調症におけるクロザピン治療と医療の質 (Quality Indicator) との関連～EGUIDE プロジェクトの処方調査の結果から～. 第 3 回日本精神薬学会総会・学術集会, 神戸, 2019.9.21.
- 34) Shixing B, Watanabe Y, Tomiyama N, Takahashi H, Hashimoto R, Hata J : The comparison of q-space myelin map, fractional anisotropy and apparent diffusion coefficient values between normal young and old ages. 第 47 回日本磁気共鳴医学会大会, 熊本, 2019.9.21.
- 35) 森田健太郎, 三浦健一郎, 藤本美智子, 宮戸恵美子, 高橋潤一, 山森英長, 安田由華, 工藤紀子, 畠地裕統, 平野羊嗣, 越山太輔, 岡田直大, 鬼塚俊明, 尾崎紀夫, 笠井清登, 池田 学, 橋本亮太: 眼球運動による精神疾患のバイオタイプ分類は可能か. JSNP/JSCNP 合同シンポジウム「精神疾患のバイオタイプの過去・現在・未来への展望」第 49 回日本神経精神薬理学会・第 29 回日本臨床精神神経薬理学会, 福岡, 2019.10.12.
- 36) 長谷川尚美, 宇野洋太, 安田由華, 山本智也, 渡邊衡一郎, 稲田 健, 橋本亮太: 統合失調症におけるクロザピン治療と抗精神病薬単剤治療の関連～EGUIDE プロジェクトの処方調査の結果から～. 第 49 回日本神経精神薬理学会年会, 福岡, 2019.10.12.
- 37) 松本純弥, 福永雅喜, 根本清貴, 越山太輔, 三浦健一郎, 宇野洋太, 岡田直大, 森田健太郎, 山森英長, 安田由華, 藤本美智子, 工藤紀子, 畠地裕統, 笠井清登, 渡邊嘉之, 橋本亮太: 大脳白質の成熟性と社会機能の指標である労働時間との関連. 第 49 回日本神経精神薬理学会年会, 福岡, 2019.10.12.
- 38) 本山美久仁, 山田 恒, 椎野智子, 長谷川尚美, 宇野洋太, 稲田 健, 渡邊衡一郎, 橋本亮太, 松永寿人: 統合失調症に対する治療ガイドライン教育プロジェクト(EGUIDE プロジェクト)の

- 効果：報告 2 - 過去 2 年の参加施設のガイドラインに基づく治療行動実践度の変化からの考察 - . 第 49 回日本神経精神薬理学会年会, 福岡, 2019.10.13.
- 39) 山田 恒, 本山美久仁, 椎野智子, 長谷川尚美, 宇野洋太, 渡邊衡一郎, 稲田 健, 橋本亮太, 松永寿人 : 統合失調症治療に対する治療ガイドライン教育プロジェクト(EGUIDE プロジェクト)の効果: 報告 1 - 過去 2 年の受講者のガイドラインに基づく治療行動実践度の変化からの考察 - . 第 49 回日本神経精神薬理学会年会, 福岡, 2019.10.13.
- 40) 小林真美, 森脇久視, 小澤篤嗣, 稲田 健, 渡邊衡一郎, 橋本亮太 : F2 群を対象とした当院の薬物療法についての現状評価－医療の質の観点から. 第 58 回全国自治体病院学会, 徳島, 2019.10.25.
- 41) 岩瀬真生, 藤本美智子, 坂本大喜, 近江 翼, 畑 真弘, 山森英長, 橋本亮太, 池田 学 : クロザピンにより誘発されたけいれん発作により腰椎圧迫骨折, 両下肢麻痺, 膀胱直腸障害をきたした治療抵抗性統合失調症の一例. 第 53 回日本てんかん学会学術集会, 神戸, 2019.10.31.
- 42) 松本純弥, 戸田 直, 青木俊太郎, 板垣俊太郎, 三浦 至, 石井士朗, 大谷晃司, 橋本亮太, 紺野慎一, 伊藤 浩, 矢部博興 : 慢性疼痛と精神疾患 - 身体症状症／身体表現性障害を中心とした脳画像研究 - . 第 49 回日本臨床神経性理学会学術大会, 福島, 2019.11.28.
- 43) 岩瀬真生, 藤本美智子, 坂本大喜, 片上茂樹, 近江 翼, 畑 真弘, 山森英長, 橋本亮太, 池田 学 : 難治性統合失調症治療薬により誘発された全身けいれん発作により腰椎圧迫骨折, 両下肢麻痺, 膀胱直腸障害をきたした実態からの教訓. 第 49 回大阪てんかん研究会, 大阪, 2020.1.18.
- 44) 王 凱, 橋本亮太, 岡田研一, 細見岳生, 加納敏行 : 脳型認知分類統合システムによる眼球運動特徴量を用いた精神疾患の分類～既存人工知能技術との精度比較～. 大阪大学主催 次世代人工知能シンポジウム 2020, 大阪, 2020.2.4.
- 45) Hayashi K, Matsumoto N, Matsuda K, Miura K, Yamane S, Matsuo S, Yanai K, Eldridge MAG, Richard SC, Richmond BJ, Nagai Y, Miyakawa N, Minamimoto T, Okada M, Kawano K, Sugase-Miyamoto Y : Neural coding of facial images with different skin textures in the temporal lobe of macaque monkeys. 第 42 回日本神経科学大会・第 62 回日本神経化学会大会 (Neuro2019), 新潟, 2019.7.26.
- 46) Sugita Y, Miura K, Furukawa T: Photoreceptor ribbon synapse may regulate light adaptation in the visual system underlying optokinetic responses. 第 42 回日本神経科学大会・第 62 回日本神経化学会大会 (Neuro2019), 新潟, 2019.7.26.
- 47) Takemura A, Kawano K, Miura K : 2 フレーム仮現運動刺激はサル大脳皮質 MST 野の活動と追従眼球運動を逆転させた. 第 42 回日本神経科学大会・第 62 回日本神経化学会大会 (Neuro2019), 新潟, 2019.7.27.
- 48) Chen C-Y, Matrov D, Richard Veale R, Miura K, Isa T: Eye movement tracking in head-fixed common marmosets. 第 9 回日本マーモセット研究会大会, 神戸, 2020.2.14.
- 49) 戸田 直, 松本純弥, 板垣俊太郎, 大西 隆, 伊藤浩, 石井士朗, 志賀哲也, 松本貴智, 青木俊太郎, 三浦 至, 矢部博興 : 自閉スペクトラム症の傾向と白質線維束における関連解析の試み. 第 115 回日本精神神経学会学術総会, 新潟, 2019.6.20.
- 50) 泉 竜太, 松本純弥, 國井泰人, 戸田 直, 石井士朗, 伊藤 浩, 三浦 至, 矢部博興 : 解離性健忘における脳血流 SPECT 画像の 3D-SRT 解析における検討: ケースシリーズ. 第 115 回日本精神神経学会学術総会, 新潟, 2019.6.20.
- 51) 一瀬瑞絵, 松本純弥, 板垣俊太郎, 刑部有祐, 山本慎之助, 三浦 至, 矢部博興 : 解離性幻聴が強くみられた強迫性障害の一例. 第 115 回日本精神神経学会学術総会, 新潟, 2019.6.20.
- 52) 三浦 至, 浅野太志, 泉 竜太, 穂積宏俊, 森 淳平, 一瀬瑞絵, 戸田 直, 刑部有祐, 堀越 翔, 野崎途也, 松本純弥, 板垣俊太郎, 矢部博興 : 福島県立医科大学医学部神経精神医学講座の紹介. 第 115 回日本精神神経学会学術総会, 新潟, 2019.6.20.
- 53) 三浦 至, 板垣俊太郎, 松本純弥, 野崎途也, 刑部有祐, 堀越 翔, 矢部博興 : 福島県立医科大

- 学医学部附属病院連携施設 精神科専門医研修プログラムについて. 第 115 回日本精神神経学会学術総会, 新潟, 2019.6.20.
- 54) 湯川尊行, 岩倉百合子, 武井延之, 斎藤摩美, 渡部雄一郎, 豊岡和彦, 五十嵐道弘, 新里和弘, 大島健一, 國井泰人, 矢部博興, 松本純弥, 和田 明, 日野瑞城, 入谷修司, 丹羽真一, 竹内亮子, 高橋 均, 柿田明美, 染矢俊幸, 那波宏之: 統合失調症患者における脳内コンドロイチン硫酸鎖の変化. 第 115 回日本精神神経学会学術総会, 新潟, 2019.6.20.
 - 55) 浅野太志, 堀越 翔, 松本純弥, 野崎途也, 戸田 宜, 穂積宏俊, 三浦 至, 矢部博興: 福島県立医科大学附属病院における診療科別の睡眠薬使用状況について. 第 115 回日本精神神経学会学術総会, 新潟, 2019.6.21.
 - 56) 堀越 翔, 國井泰人, 松本純弥, 平尾美枝子, 後藤大介, 三浦 至, 矢部博興: 抗認知症薬の 6 ヶ月後の治療反応性はその後の転帰に影響するか. 第 115 回日本精神神経学会学術総会, 新潟, 2019.6.21.
 - 57) 森 淳平, 松本純弥, 刑部有祐, 堀越 翔, 戸田 宜, 浅野太志, 板垣俊太郎, 三浦 至, 矢部博興: 抗アレルギー薬投与を契機に体系的な妄想が出現・持続したパーキンソン病患者の一例. 第 115 回日本精神神経学会学術総会, 新潟, 2019.6.21.
 - 58) 松本純弥, 刑部有祐, 戸田 宜, 泉 竜太, 一瀬瑞絵, 森 淳平, 板垣俊太郎, 三浦 至, 矢部博興: ビフィズス菌整腸剤の過量服薬を繰り返した境界性パーソナリティ障害の一例. 第 115 回日本精神神経学会学術総会, 新潟, 2019.6.21.
 - 59) 坂井美和子, 渡部雄一郎, 染矢俊幸, 荒木一明, 濵谷雅子, 新里和弘, 大島健一, 國井泰人, 矢部博興, 松本純弥, 和田 明, 日野瑞城, 橋本健志, 菱本明豊, 北村 登, 入谷修司, 白川 治, 前田 潔, 宮下哲典, 丹羽真一, 高橋 均, 柿田明美, 桑野良三, 那波宏之: 統合失調症患者の脳内ゲノムにおけるコピー数変異の評価. 第 115 回日本精神神経学会学術総会, 新潟, 2019.6.21.
 - 60) 青木俊太郎, 戸田 宜, 菅野和子, 大谷晃司, 本谷 亮, 横倉俊也, 松本純弥, 板垣俊太郎, 三浦 至, 矢部博興: 疼痛と認知行動療法の研究. 第 49 回日本臨床神経性理学会学術大会, 福島, 2019.11.28.
 - 61) 青木俊太郎, 戸田 宜, 菅野和子, 大谷晃司, 本谷 亮, 横倉俊也, 松本純弥, 板垣俊太郎, 三浦 至, 矢部博興: 疼痛性障害に対する集団行動活性化の「痛み度」の変化に関する予備調査. 第 49 回日本臨床神経性理学会学術大会, 福島, 2019.11.28.
 - 62) 戸田 宜, 松本純弥, 石井士朗, 板垣俊太郎, 大谷晃司, 青木俊太郎, 三浦 至, 志賀哲也, 松本貴智, 菅原茂耕, 山國 遼, 箱崎元晴, 渡邊宏剛, 矢吹省司, 二階堂琢也, 渡邊和之, 加藤欽志, 小林 洋, 伊藤 浩, 紺野慎一, 矢部博興: 心因性が疑われる高齢の慢性疼痛患者における脳血流の変化. 第 49 回日本臨床神経性理学会学術大会, 福島, 2019.11.28.
 - 63) 板垣俊太郎, 戸田 宜, 松本純弥, 大西 隆, 伊藤 浩, 志賀哲也, 松本貴智, 青木俊太郎, 三浦 至, 矢部博興: 発達障害における Mismatch Negativity (MMN) と脳画像解析の統合の試み. 第 49 回日本臨床神経性理学会学術大会, 福島, 2019.11.30.
- (3) 研究報告会
- 1) 橋本亮太: 多施設共同研究体制の構築. 第 17 回 IGC 第 13 回 COCORO 合同会議, 東京, 2019.6.1.
 - 2) 橋本亮太: 精神疾患のバイオタイプによる診断・治療法の開発. 第 17 回 IGC 第 13 回 COCORO 合同会議, 東京, 2019.6.2.
 - 3) 橋本亮太: 精神疾患のバイオタイプによる診断・治療法の開発. 第 18 回 IGC 第 14 回 COCORO 合同会議, 東京, 2019.12.7.
 - 4) 橋本亮太: 多施設共同研究体制の構築. 第 18 回 IGC 第 14 回 COCORO 合同会議, 東京, 2019.12.7.
 - 5) 三浦健一郎: AI 解析によるバイオタイプの同定. 第 17 回 IGC 第 13 回 COCORO 合同会議,

- 東京, 2019.6.2.
- 6) 三浦健一郎, 山本哲也, 福永雅喜, 定藤規弘: 追跡眼球運動と視覚誘導性サッケードに関わる脳領域の比較. 第2回生体機能イメージング共同利用実験 研究発表会, 岡崎, 2019.11.26.
 - 7) 三浦健一郎: AI 解析によるバイオタイプの同定: 眼球運動特性による層別化. 第18回 IGC 第14回 COCORO 合同会議, 東京, 2019.12.7.
 - 8) 松本純弥: 認知社会機能と脳構造の関連解析. 第17回 IGC 第13回 COCORO 合同会議, 東京, 2019.6.1.
 - 9) 松本純弥: 大規模 MRI 構造データの自動解析に関する QC 法の提案. 第18回 IGC 第14回 COCORO 合同会議, 東京, 2019.12.7.
- (4) その他
- 1) 橋本亮太: プレスリリース 精神科治療ガイドラインの教育・普及・検証活動により精神科医の治療ガイドラインへの理解度が向上～精神科医への教育を行い、よりよい医療の実践に大きく前進～ (NCNP, 杏林大学, 東京女子医大, 日本神経精神薬理学会, 日本うつ病学会共同) 2019.8.22. (Psychiatry and Clinical Neuroscience)
 - 2) 橋本亮太: プレスリリース 複数の精神疾患に共通する大脑白質の異常を発見・統合失調症と双極性障害に共通の異常- (NCNP, 東京大学, IRON, AMED 共同) 2019.11.19. (Molecular Psychiatry)
 - 3) 橋本亮太: プレスリリース 自閉症患者に生じる遺伝子突然変異が脳の発達や社会性に異常をもたらす分子メカニズムを解明・自閉症の治療戦略の開発に期待- (大阪大学, NCNP, AMED 共同) 2020.2.19. (Nature Communications)
 - 4) 橋本亮太: 精神疾患の克服とその障害への支援. NCNP 精神保健研究所ランチョンセミナー, 東京, 2019.5.7.
 - 5) 橋本亮太: 精神医療分野における治療の質を評価する QI とその向上をもたらす介入技法の開発と実用性の検証: プロジェクトの概要. 日本医療研究開発機構 障害者対策総合研究開発事業「精神医療分野における治療の質を評価する QI とその向上をもたらす介入技法の開発と実用性の検証」第一回研究班会議, 東京, 2019.5.18.
 - 6) 橋本亮太: 指定発言. シンポジウム: 精神科薬物治療の出口戦略を考える, 第115回日本精神神経学会学術総会, 新潟, 2019.6.22.
 - 7) 橋本亮太: 精神疾患のバイオマーカーについて. 日本医療研究開発機構 障害者対策総合研究開発事業「血液メタボローム解析による精神疾患の層別化可能な客観的評価法の確立と治療最適化への応用」令和元年度第一回研究班会議, 徳島, 2019.7.5.
 - 8) 橋本亮太: 精神疾患の眼球運動異常の脳神経回路のメカニズムの解明とその臨床的意義の同定. 第50回 IBIC 大型画像機器研究推進委員会検討会, 小平 (NCNP), 2019.7.23.
 - 9) 菅生康子, 林 和子, 松本有央, 松田圭司, 三浦健一郎, 本武陽一, 松尾 真, 澤山正貴, 南本敬史, 岡田真人, 柳井啓司, 佐藤いまり, 西田眞也, 河野憲二: 側頭葉前部における顔の質感知覚を支える神経機構の解明. 第8回多元質感知・領域班会議. 浜松, 2019.9.1.

C. 講演

- 1) 橋本亮太: 精神科治療ガイドラインの普及・教育・検証活動と精神疾患病態解明研究. 精神医療セミナー (国立精神・神経医療研究センター), 東京, 2019.6.25.
- 2) 橋本亮太: 精神疾患病態研究における DSM と RDoC の功罪. 第6回 NCNP メディア塾, 東京, 2019.8.23.
- 3) 橋本亮太: 統合失調症薬物治療ガイドラインを使いこなすコツ. こころのフォーラム, 茨城, 2019.9.6.
- 4) 橋本亮太: うつ病の治療～ガイドラインの普及・教育・検証～. 第18回三重不安・抑うつ治

- 療研究会, 三重, 2019.10.17.
- 5) 藤本美智子, 山森英長, 三浦健一郎, 安田由華, 工藤紀子, 畑地裕統, 住吉チカ, 藤野陽生, 住吉太幹, 池田 学, 橋本亮太: Clozapine 投与中の治療抵抗性統合失調症患者における簡易認知機能検査の実践. 第 19 回精神疾患と認知機能研究会, 東京, 2019.11.9.
 - 6) 住吉チカ, 松井三枝, 倉知正佳, 橋本亮太, 吉村直記, 住吉太幹: カテゴリ流暢性課題を利用した統合失調症患者の高次認知機能の評価: 最近の研究動向. 第 19 回精神疾患と認知機能研究会, 東京, 2019.11.9.
 - 7) 橋本亮太: 統合失調症の認知社会機能の測定法とその臨床応用. 第 39 回静岡県東部精神科医会, 三島, 2019.11.19.
 - 8) 橋本亮太: 統合失調症の治療法の最近の動向とクロザピン治療. 大精神・大阪弁護士会合同勉強会, 大阪, 2019.11.28.
 - 9) 三浦健一郎: 眼球運動の特徴から統合失調症を診断できるか? ヘルスケア・医療機器専門技術研究会 第 4 回研究会, 和歌山, 2020.2.7.

D. 学会活動

(1) 学会主催

(2) 学会役員

- 1) 橋本亮太: 日本神経精神薬理学会 評議員, 広報委員会委員長, 統合失調症薬物治療ガイドラインタスクフォース委員, 編集委員会委員, 國際學術委員会委員, 執行委員会委員, 統合失調症薬物治療ガイドライン改訂委員, 50 周年記念事業ワーキンググループ委員, 精神科治療ガイドラインの普及・教育・検証委員会 (通称: EGUIDE 委員会)
- 2) 橋本亮太: 日本精神神經学会 PCN 編集委員会委員, 薬事委員会委員, 精神医学研究推進委員会委員
- 3) 橋本亮太: 日本神経化学会 評議員, 利益相反委員会委員, 若手育成委員会委員
- 4) 橋本亮太: 日本統合失調症学会 評議員
- 5) 橋本亮太: 日本うつ病学会 評議員, 気分障害の治療ガイドライン検討委員会委員, 精神科治療ガイドラインの普及・教育・検証委員会 (通称: EGUIDE 委員会)
- 6) 橋本亮太: 日本生物学的精神医学会 理事, 将来計画委員会委員, 関連学会対応委員会副委員長, 評議員
- 7) 橋本亮太: 日本神経科学学会 臨床・関連学会連携委員会委員
- 8) 橋本亮太: 国際神経精神薬理学会 理事, フェローシップ表彰委員会委員, 教育委員会委員, 評議員
- 9) 三浦健一郎: 電子情報通信学会ニューロコンピューティング研究専門委員会 専門委員

(3) 座長

- 1) Hashimoto R: Symposium "International neuroimaging big data collaborations: ENIGMA and COCORO". 6th Congress of Asian College of Neuropsychopharmacology (AsCNP), Fukuoka, 2019.10.11.
- 2) 橋本亮太: 統合失調症の認知社会機能障害の簡便な測定法. 第 14 回日本統合失調症学会, 北海道, 2019.4.19.
- 3) 橋本亮太: 一般演題「統合失調症」. 第 41 回日本生物学的精神医学会, 新潟, 2019.6.23.
- 4) 橋本亮太, 上野修一: 第 8 回若手研究者育成プログラムプログレスレポート I. 第 41 回日本生物学的精神医学会, 新潟, 2019.6.23.
- 5) 橋本亮太: JSNP/JSCNP 合同シンポジウム「精神疾患のバイオタイプの過去・現在・未来への展望」. 第 49 回日本神経精神薬理学会・第 29 回日本臨床精神神経薬理学会, 福岡, 2019.10.12.

(4) 学会誌編集委員等

- 1) 橋本亮太：日本精神神経学会機関誌「Psychiatry and Clinical Neuroscience」編集委員会委員
- 2) 橋本亮太：日本神経精神薬理学会機関誌「Neuropsychopharmacology Reports」「日本神経精神薬理学雑誌」編集委員会委員

E. 研修

(1) 研修企画

- 1) 橋本亮太：第 14 回日本統合失調症学会ワークショップ、統合失調症の認知社会機能障害の簡便な測定法. 北海道, 2019.4.19.
- 2) 橋本亮太：大阪精神科診療所協会主催、統合失調症薬物治療ガイドライン講習会. 大阪, 2019.5.19.
- 3) 橋本亮太：大阪精神科診療所協会主催、うつ病治療ガイドライン講習会. 大阪, 2019.5.26.
- 4) 橋本亮太：第 115 回日本精神神経学会学術総会ワークショップ、日常診療に診療ガイドラインは役にたつか. 新潟, 2019.6.21.
- 5) 橋本亮太：第 16 回日本うつ病学会総会、EGUIDE プロジェクト うつ病治療ガイドライン講習会. 徳島, 2019.7.7.
- 6) 橋本亮太：第 16 回日本うつ病学会総会、EGUIDE プロジェクト：精神科医のための双極性障害治療ガイドライン講習会. 徳島, 2019.7.6.
- 7) 橋本亮太：EGUIDE プロジェクト北陸地区講習、統合失調症薬物治療ガイドライン講習. 金沢, 2019.10.5.
- 8) 橋本亮太:EGUIDE プロジェクト北陸地区講習、うつ病治療ガイドライン講習. 金沢, 2019.10.6.
- 9) 橋本亮太：EGUIDE プロジェクト四国地区講習、統合失調症薬物治療ガイドライン講習. 徳島, 2019.10.5.
- 10) 橋本亮太:EGUIDE プロジェクト四国地区講習、うつ病治療ガイドライン講習. 徳島, 2019.10.6.
- 11) 橋本亮太：第 49 回日本神経精神薬理学会・第 29 回日本臨床精神神経薬理学会、統合失調症薬物治療ガイドライン講習会. 福岡, 2019.12.13.
- 12) 橋本亮太：EGUIDE プロジェクト関東地区講習、統合失調症薬物治療ガイドライン講習. 東京, 2019.10.19.
- 13) 橋本亮太：EGUIDE プロジェクト関東地区講習、うつ病治療ガイドライン講習. 東京, 2019.10.20.
- 14) 橋本亮太：EGUIDE プロジェクト関東地区講習、統合失調症薬物治療ガイドライン講習. 栃木, 2019.10.19.
- 15) 橋本亮太：EGUIDE プロジェクト関東地区講習、うつ病治療ガイドライン講習. 栃木, 2019.10.20.
- 16) 橋本亮太：EGUIDE プロジェクト関東地区講習、統合失調症薬物治療ガイドライン講習. 東京, 2019.10.27.
- 17) 橋本亮太：EGUIDE プロジェクト北海道講習、統合失調症薬物治療ガイドライン講習. 札幌, 2019.11.2.
- 18) 橋本亮太:EGUIDE プロジェクト北海道講習、うつ病治療ガイドライン講習. 札幌, 2019.11.3.
- 19) 橋本亮太：EGUIDE プロジェクト中部地区講習、統合失調症薬物治療ガイドライン講習. 名古屋, 2019.11.2.
- 20) 橋本亮太：EGUIDE プロジェクト中部地区講習、うつ病治療ガイドライン講習. 名古屋, 2019.11.3.
- 21) 橋本亮太：EGUIDE プロジェクト関東地区講習、うつ病治療ガイドライン講習. 東京, 2019.11.10.

- 22) 橋本亮太：EGUIDE プロジェクト東北地区講習，統合失調症薬物治療ガイドライン講習. 仙台, 2019.12.14.
- 23) 橋本亮太：EGUIDE プロジェクト東北地区講習，うつ病治療ガイドライン講習. 仙台, 2019.12.15.
- 24) 橋本亮太：EGUIDE プロジェクト九州地区講習，統合失調症薬物治療ガイドライン講習. 福岡, 2019.12.14.
- 25) 橋本亮太：EGUIDE プロジェクト九州地区講習，うつ病治療ガイドライン講習. 福岡, 2019.12.15.
- 26) 橋本亮太：EGUIDE プロジェクト近畿地区講習，統合失調症薬物治療ガイドライン講習. 大阪, 2019.12.21.
- 27) 橋本亮太：EGUIDE プロジェクト近畿地区講習，うつ病治療ガイドライン講習. 大阪, 2019.12.22.
- 28) 橋本亮太：EGUIDE プロジェクト浜松医大講習，統合失調症薬物治療ガイドライン講習. 浜松, 2019.12.21.
- 29) 橋本亮太：EGUIDE プロジェクト浜松医大講習，うつ病治療ガイドライン講習. 浜松, 2019.12.22.

(2) 研修会講師

- 1) 橋本亮太：統合失調症の認知社会機能障害の簡便な測定法. 第 14 回日本統合失調症学会, 北海道, 2019.4.19.
- 2) 橋本亮太：治療抵抗性. 統合失調症薬物治療ガイドライン講習会(大阪精神科診療所協会主催), 大阪, 2019.5.19.
- 3) 橋本亮太：精神病性. うつ病治療ガイドライン講習会(大阪精神科診療所協会主催), 大阪, 2019.5.26.
- 4) 橋本亮太：本ワークショップの趣旨. ワークショップ：日常診療に診療ガイドラインは役に立つか, 第 115 回日本精神神経学会学術総会, 新潟, 2019.6.21.
- 5) 橋本亮太：趣旨説明. EGUIDE プロジェクト：精神科医のための双極性障害治療ガイドライン講習会, 第 16 回日本うつ病学会総会, 徳島, 2019.7.6.
- 6) 橋本亮太：治療抵抗性. 統合失調症薬物治療ガイドライン講習会, 第 49 回日本神経精神薬理学会, 福岡, 2019.10.13.
- 7) 橋本亮太：趣旨説明. 統合失調症薬物治療ガイドライン講習, EGUIDE プロジェクト関東地区講習, 栃木, 2019.10.19.
- 8) 橋本亮太：治療抵抗性. 統合失調症薬物治療ガイドライン講習, EGUIDE プロジェクト関東地区講習, 栃木, 2019.10.19.
- 9) 橋本亮太：理解度の解説とフィードバック. 統合失調症薬物治療ガイドライン講習, EGUIDE プロジェクト関東地区講習, 栃木, 2019.10.19.
- 10) 橋本亮太：趣旨説明. うつ病治療ガイドライン講習, EGUIDE プロジェクト関東地区講習, 栃木, 2019.10.20.
- 11) 橋本亮太：理解度の解説とフィードバック. うつ病治療ガイドライン講習, EGUIDE プロジェクト関東地区講習, 栃木, 2019.10.20.
- 12) 橋本亮太：趣旨説明. 統合失調症薬物治療ガイドライン講習, EGUIDE プロジェクト関東地区講習, 東京, 2019.10.27.
- 13) 橋本亮太：治療抵抗性. 統合失調症薬物治療ガイドライン講習, EGUIDE プロジェクト関東地区講習, 東京, 2019.10.27.
- 14) 橋本亮太：理解度の解説とフィードバック. 統合失調症薬物治療ガイドライン講習, EGUIDE プロジェクト関東地区講習, 東京, 2019.10.27.

- 15) 橋本亮太：趣旨説明. うつ病治療ガイドライン講習, EGUIDE プロジェクト関東地区講習, 東京, 2019.11.10.
- 16) 橋本亮太：児童思春期. うつ病治療ガイドライン講習, EGUIDE プロジェクト関東地区講習, 東京, 2019.11.10.
- 17) 橋本亮太：理解度の解説とフィードバック. うつ病治療ガイドライン講習, EGUIDE プロジェクト関東地区講習, 東京, 2019.11.10.
- 18) 橋本亮太：趣旨説明. 統合失調症薬物治療ガイドライン講習, EGUIDE プロジェクト浜松医大講習, 浜松, 2019.12.21.
- 19) 橋本亮太：治療抵抗性. 統合失調症薬物治療ガイドライン講習, EGUIDE プロジェクト浜松医大講習, 浜松, 2019.12.21.
- 20) 橋本亮太：理解度の解説とフィードバック. 統合失調症薬物治療ガイドライン講習, EGUIDE プロジェクト浜松医大講習, 浜松, 2019.12.21.
- 21) 橋本亮太：趣旨説明. うつ病治療ガイドライン講習, EGUIDE プロジェクト浜松医大講習, 浜松, 2019.12.22.
- 22) 橋本亮太：児童思春期. うつ病治療ガイドライン講習, EGUIDE プロジェクト浜松医大講習, 浜松, 2019.12.22.
- 23) 橋本亮太：理解度の解説とフィードバック. うつ病治療ガイドライン講習, EGUIDE プロジェクト浜松医大講習, 浜松, 2019.12.22.
- 24) 橋本亮太：統合失調症薬物治療ガイドラインを学び心理社会的介入に活かす. 神奈川県作業療法士会研修会, 神奈川, 2020.1.11.

F. その他

- 1) 橋本亮太：研究会主宰, 第 17 回 IGC 第 13 回 COCORO 合同会議. 東京, 2019.6.1-2.
- 2) 橋本亮太：総合司会, 統合失調症薬物治療ガイドライン講習, EGUIDE プロジェクト関東地区講習. 栃木, 2019.10.19.
- 3) 橋本亮太：総合司会, うつ病治療ガイドライン講習, EGUIDE プロジェクト関東地区講習. 栃木, 2019.10.20.
- 4) 橋本亮太：総合司会, 統合失調症薬物治療ガイドライン講習, EGUIDE プロジェクト関東地区講習. 東京, 2019.10.27.
- 5) 橋本亮太：総合司会, うつ病治療ガイドライン講習, EGUIDE プロジェクト関東地区講習. 東京, 2019.11.10.
- 6) 橋本亮太：研究会主宰, 第 18 回 IGC 第 14 回 COCORO 合同会議. 東京, 2019.12.7.
- 7) 橋本亮太：総合司会, 統合失調症薬物治療ガイドライン講習, EGUIDE プロジェクト浜松医大講習. 浜松, 2019.12.21.
- 8) 橋本亮太：総合司会, うつ病治療ガイドライン講習, EGUIDE プロジェクト浜松医大講習. 浜松, 2019.12.22.